

事業コード	H28-建-新-03		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2483
路線名等	一般国道 108号		担当課長名	菅原 喬
箇所名	由利本荘市鳥海町小川		担当者名	藤原 元気
総合計画との関連	政策コード	03	政 策 名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施 策 名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H29 ~ H34 (6年)		総事業費	7.8億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=1,000m 幅員 W=6.5(9.5)m (1.5-3.25-3.25-1.5)						
事業の立案に至る背景	<p>国道108号は、宮城県石巻市～湯沢市～由利本荘市と太平洋側から日本海側を結ぶ重要な国道であり、由利組合総合病院等との医療機関や鳥海山等の地域の観光資源へのアクセス道路でもある。当該区間の車道幅員は狭く、急カーブ箇所もあることから、大型車とのすれ違い困難や旅行速度の低下が引き起こされているほか、死傷事故も多発している。道路利用者の安全を確保するとともに、第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性等の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者自転車の安全性の向上 ○緊急輸送道路としての機能を確保する(第二次緊急輸送道路)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度以降
	事業費		780,000	40,000	75,000	120,000	545,000
	経費内訳	工事費	630,000			85,000	545,000
		用補費	35,000		35,000		
		その他	115,000	40,000	40,000	35,000	
	財源内訳	国庫補助	546,000	28,000	52,500	84,000	381,500
		県 債	210,600	10,800	20,250	32,400	147,150
その他							
一般財源	23,400	1,200	2,250	3,600	16,350		
事業内容			路線測量、道路、トンネル、橋梁詳細設計、地質調査	用地測量、用地買収	本工事	本工事	
調査経緯	○平成27年度 道路概略設計						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン重点戦略(観光・交通戦略)の「地域間ネットワークの構築」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○由利本荘市総合計画						
事業を取り巻く情勢の変化	○平成26年3月17日に当該工区内の急カーブで軽トラックの単独事故による死亡事故が発生している。○由利本荘市より道路整備の要望書が提出されている。(平成28年) ○由利本荘市鳥海地域小川部落より道路整備の要望書が提出されている。(平成28年)						
事業効率把握の手法	指標名	県管理国道改良率					
	指標式	改良率(県管理国道改良済延長/県管理国道実延長)					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	94 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	93 %					
	達成率 b/a	99 %		把握の時期	平成28年 4月		

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	○最小曲線半径が20mの急カーブ箇所は、大型車とのすれ違い困難、旅行速度の低下、死傷事故多発のほか、視距の不足による運転者からの歩行者発見の遅れなど道路利用者の安全に支障を来している。 ○当該工区では近年、7件の事故が発生しており、急カーブ付近では橋梁からの車両の転落による重大事故も発生しているため、早期に整備する必要がある。	23 点
緊 急 性	○由利本荘市総合計画の中で道路網の整備が主要施策に挙げられており、国道108号は市を横断する幹線道路である。 ○道路線形、道路幅員ともに道路構造令の標準値を満足しておらず、車両の安全な通行に支障を来している。	20 点
有 効 性	○第二次緊急輸送路に指定されており、整備による機能強化が期待される。 ○二次救急医療施設である佐藤病院へのアクセス路線であり、早急な整備が必要である。	12 点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.1であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 7.0億円 ・総便益の現在価値 8.0億円 ○計画交通量は4,100台/日である。	13 点
熟 度	○由利本荘市長より道路整備の要望書が提出されている。	15 点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III)	83 点
	判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	83 点
	評定結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間は車道幅員が狭く、橋梁部と接続の急カーブもあり、大型車のほか普通車の通行にも支障を来し、死傷事故も多く発生していることから、線形改良や幅員の確保を目的としたバイパス整備は必要性、緊急性とともに効率性も認められ、第二次緊急輸送道路としての機能強化となる機能性も認められることから、1次評価における総合評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
計画区間は道路幅員が狭く、急カーブでは大型車両が対向車線にはみ出さないと曲がれないなど、車両の安全な通行や横断する沿道住民の安全性に支障を来している。さらに、急カーブ付近の橋梁では、高欄への車両の衝突、橋からの落下事故が発生しており、事業実施の必要性は認められる。また、補償物件の多寡など、コスト縮減に関する検討がなされている。	

5. 最終評価（新規箇所選定会議）

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード (H28-建-新-03)

適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

箇所名 (由利本荘市鳥海町小川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				2次改築事業については該当しない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>5% ・冬期堆雪巾なし 	3箇所以上	17	17	
		2箇所	12		
		1箇所	7		
		0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	18	6	
		4件該当	14		
		3件該当	10		
		2件該当	6		
		1件該当	3		
該当項目なし		0			
計		35	23		
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無			10	
		あり	10		
	緊急度の高い課題の有無	あり	10	10	
		なし	0		
	計		20	20	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	救急医療施設へのアクセス	直接アクセスする	7	5	
間接的に補充する		5			
計	アクセスへの貢献は小さい	1	15	12	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	
		1,000台/日以上5,000台/日未満	3		
計	1,000台/日未満	0	15	13	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	10	10	
		口頭要望あり	5		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	あり	5	5	
なし		0			
計		15	15		
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		